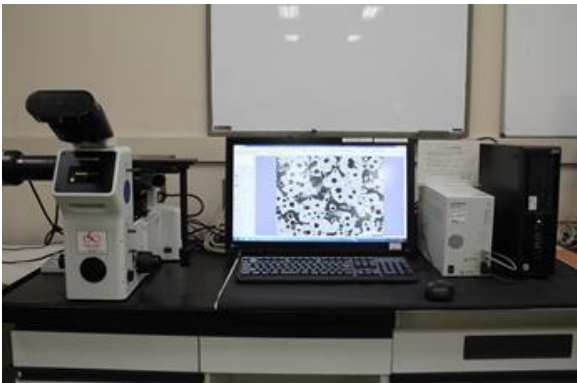

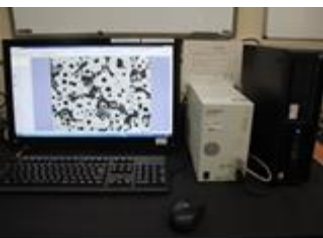


事業者名	石川県								
機器名	摩擦磨耗試験機								
写真									
特徴・用途	<p>圧子を試料表面に押しつけながら試料を回転させた時の摩擦力を計測し、動摩擦係数を測定する装置である。 測定環境を大気、高温、油潤滑の中から選択でき、種々の材料間で摺動特性を定量評価できる。</p>								
設置場所	石川県工業試験場 材料物性試験室								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成26年11月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年12月	10	0	0	0	0	0	1	1
	平成27年1月	10	0	0	1	4	0	1	2
	平成27年2月	10	0	0	2	3	0	0	2
	平成27年3月	10	0	0	3	6	0	0	3
	平成27年4月	10	0	0	2	2	2	0	4
	平成27年5月	11	0	0	1	12	2	0	3
	平成27年6月	10	3	0	3	6	2	0	8
	平成27年7月	10	0	0	5	11	2	0	7
	平成27年8月	10	0	0	3	17	2	0	5
	平成27年9月	18	4	0	6	37	2	0	12
	平成27年10月	10	1	0	3	10	2	0	6
	平成27年11月	10	3	0	5	13	2	0	10
	平成27年12月	12	2	0	2	14	2	0	6
	平成28年1月	10	0	0	1	8	2	0	3
平成28年2月	16	2	0	6	39	2	0	10	
平成28年3月	18	0	0	4	52	2	0	6	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・高温下で試験可能となり、コーティング膜の熱による摺動特性変化データの取得ができる。これにより、精度の高い研究開発が行えるようになった。 ・潤滑油もいろいろと変更できるので、実機に近い状態で試験可能である。 								
補助事業概要の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h26/pdf/26-033koho.pdf								

事業者名	石川県								
機器名	デジタル金属顕微鏡								
写真	  								
特徴・用途	<p>金属組織や溶接部の溶け込み、めっき厚さ等の様々な金属材料の評価・解析に利用される。最高2000倍までの観察が可能で、撮影した画像から結晶粒度などを計測する画像解析ソフトも装備している。</p>								
設置場所	石川県工業試験場 電子顕微鏡室								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成26年9月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年10月	18	1	0	4	21	0	0	5
	平成26年11月	10	2	0	2	4	0	1	5
	平成26年12月	10	3	1	2	4	0	0	6
	平成27年1月	11	4	0	2	2	0	2	8
	平成27年2月	10	2	0	3	5	0	0	5
	平成27年3月	18	6	2	6	22	0	0	14
	平成27年4月	10	6	0	5	7	1	0	12
	平成27年5月	11	3	0	7	12	1	0	11
	平成27年6月	10	3	2	4	6	2	0	11
	平成27年7月	16	1	0	8	16	2	0	11
	平成27年8月	13	2	1	7	14	2	0	12
	平成27年9月	10	3	2	2	2	2	3	12
	平成27年10月	11	2	3	4	6	2	2	13
	平成27年11月	10	0	0	4	6	2	4	10
	平成27年12月	12	6	0	6	19	2	0	14
	平成28年1月	10	2	1	4	10	2	0	9
	平成28年2月	10	5	2	2	4	2	0	11
平成28年3月	14	3	2	4	10	2	0	11	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡が倒立型になったので、ホルダーから試料を外すことなく研磨工程ごとの試料状態を観察することが可能になった。そのため、以前と比べて研磨に費やす時間を大幅に減らすことができた。 ・顕微鏡だけではなく金属材料組織を評価(球状化率)する専用画像処理ソフトも付属されているので、直ぐに観察・評価ができる。 ・観察画面が大きく、タッチパネルになったので、操作しやすく大勢で画面を見ながら話ができる。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h26/pdf/26-033koho.pdf								